

令和元年度(2019年度) 「地域と学校の連携・協働」関係者等研修

「地域と学校の連携・協働」関係者等研修とは？

地域と学校の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を実現するために、未来を担う子供たちの成長を支えていく関係者が一堂に会し、推進方策について共通理解を図る研修です。**全教育事務所管内(6月～7月)**で行われました。

参加者は？

- ・地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター) ・学校運営協議会委員
- ・教職員 ・各市町村教育委員会担当者(社会教育主管課及び学校教育主管課)
- ・地域学校協働活動関係者(各事業関係者、公民館関係者及び社会教育委員)等



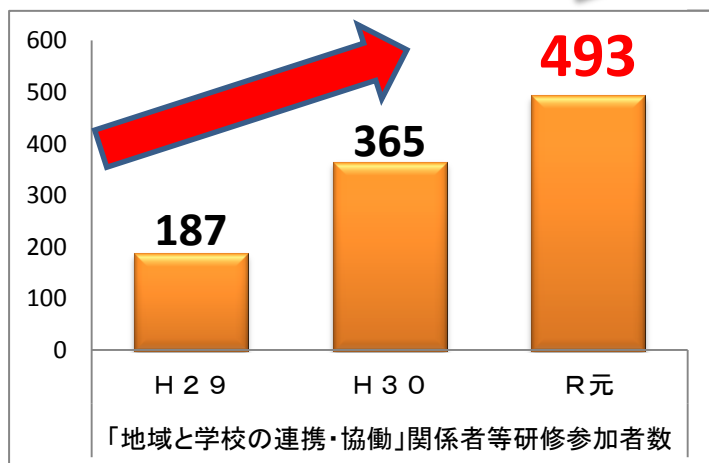
各教育事務所で工夫された研修会が行われていました。

1 参加者数

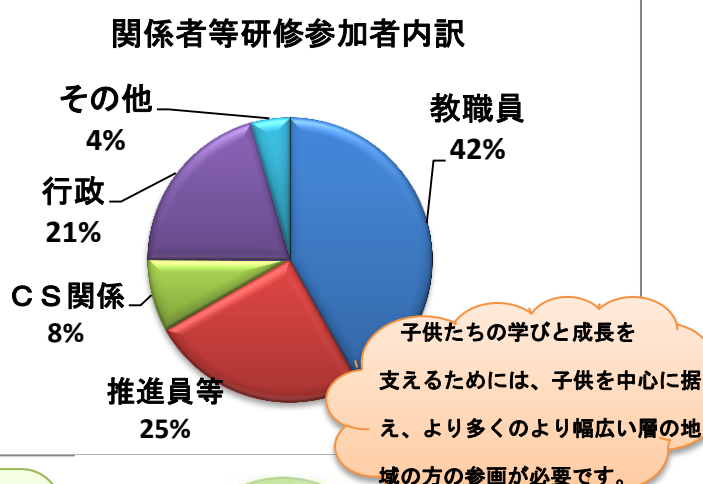
493名

3年間で約**2.6倍！！**

2 参加者数の推移(3年間)



3 参加者の内訳



学校、地域、保護者、行政の皆様が、それぞれの立場で、膝をつきあわせて、子供たちの成長のために意見を交わしたことは、大変有意義な時間でした。今後ともよろしくお願いします！



4 参加者の感想

学校

☆地域とともにある学校づくり
☆「社会に開かれた教育課程」
☆働き方改革

・多少の事務量の増加はあるが、**生徒指導面の負担軽減は実感**している。今後も積極的に推進していきたい。

- ・地域学校協働本部の方々の話を拝聴し、様々なアイデアがあることに気づき、**学校だけで閉じるのではなく**、地域や保護者の意見やアイデアを取り入れていきたいと思った。
- ・推進員の方や公民館の方と情報を共有できたことは大きかった。**教育課程の編成**にも役立てたい。教育課程は、地域の方々の思いを反映されたものに進化させねばと感じた。
- ・実際にシミュレーションとして協議し、またコーディネーター会議を参観したことで、理論がイメージ(実現した姿)として理解できた。今からやるべきことが少し見えた気がする。
- ・近々CS総会が開催されるが、本日のような手法を取り入れて、地域の思いを出し合う会になればと感じている。
- ・学校から地域へ情報を発信することの大切さを再認した。
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部のそれぞれの役割を知るとともに、連携の大切さを再確認することができた。
- ・各学校の取組を聞くことができ参考になった。中学校区別協議では組織づくり等の課題が出されたので、今度もこのような場があればと思う。
- ・CSと地域学校協働活動の一体のビジョンが持てた。学校での実践につなげていきたいと思う。
- ・「参加」ではなく「参画」、「成長」だけでなく「学び」という部分に、これからの方向性が示されていたと感じた。今後の方向性がはっきりしたので、少しずつだが、参画と学びを意識した取組を行っていきたい。
- ・同地区の皆様と意見交換をしながら計画を立てる活動は大変参考になった。この手法を、是非、CSにも活用していきたい。

地域

☆地域の教育力の向上
☆地域コミュニティ再生

家庭

・協議は、同一市内の者同士で**本音**で話し合うことができた。

- ・率直な意見を学校と地域で交流することで協働活動の推進につながると思う。
- ・県として、育成と資質向上の取組について、積極的に情報を発信してもらえるとありがたい。
- ・先生方と課題を出し合うのはとてもよい機会である。**もっと話したい。**
- ・地域学校協働活動の組織体制を持続可能な形に構築する必要があると感じた。
- ・未来を担う子供を育てていくために、**多くの人が携わり、地域全体で取り組んでいく大切さ**を学ぶことができた。
- ・様々な立場から出された意見は関連しているが、それぞれの思いや考えをつなぐことができていないことに気付いたので、「つなぐ」手段を考えたい。
- ・「参画」「共有」「実行」をキーワードにがんばりたい。
- ・**顔を合わせることの大切さ**、そのような機会の設定が大切である。
- ・コーディネーターの具体的な取組例を聞き、参考になることが多くあった。その後、中学校区別協議だったため、その意見を伝え合い、今後の取組も明確に話すことができ、とても良かった。

行政

☆地方創生
☆未来の担い手の育成

・目指す地域像について、学校だけでなく「**学校・地域**」が**一緒に考える必要**がある。真剣に考えないと、将来的には地域の存続に関わる重要な問題になる。

- ・地域、学校、保護者が連携・協働していくための意識改革や組織づくりをしっかり行っていきたいと、グループ協議を通して考えることができた。
- ・各市町村で様々な組織があり、地域学校協働活動をいかに進めていくか工夫が見られた。参考にできることは大いに進めていきたい。
- ・地域と学校の連携の将来の姿を思い浮かべることで、「何をしていかなければならないか」という事が明確化されたと思う。
- ・グループ協議はとても具体的で役に立った。**ワクワク**するような意見もあり、実行できるように地域や役場で話し合っていけたらと思った。
- ・協議時間が足りなかったなので、市町村でも今回と同じような協議の場を作りたい。（複数意見）
- ・地域学校協働活動の組織体制を**持続可能な形に構築**する必要があると感じた。

地域学校協働活動の効果は？

子供たちにとっていいこと

- ①ふるさとへの理解と愛着、地域の担い手としての自覚が高まります。
- ②コミュニケーション能力が向上します。
- ③自己肯定感や他人を思いやる心など、豊かな心が育まれます。

学校にとっていいこと

- ①地域の中に、教育活動に対する理解者、支援者が増えます。
- ②地域資源を活かした効果的な授業づくりが進むとともに、「社会に開かれた教育課程」への具現化が図られます。
- ③継続的な学校支援体制が整います。※「教職員の働き方改革につながります。」

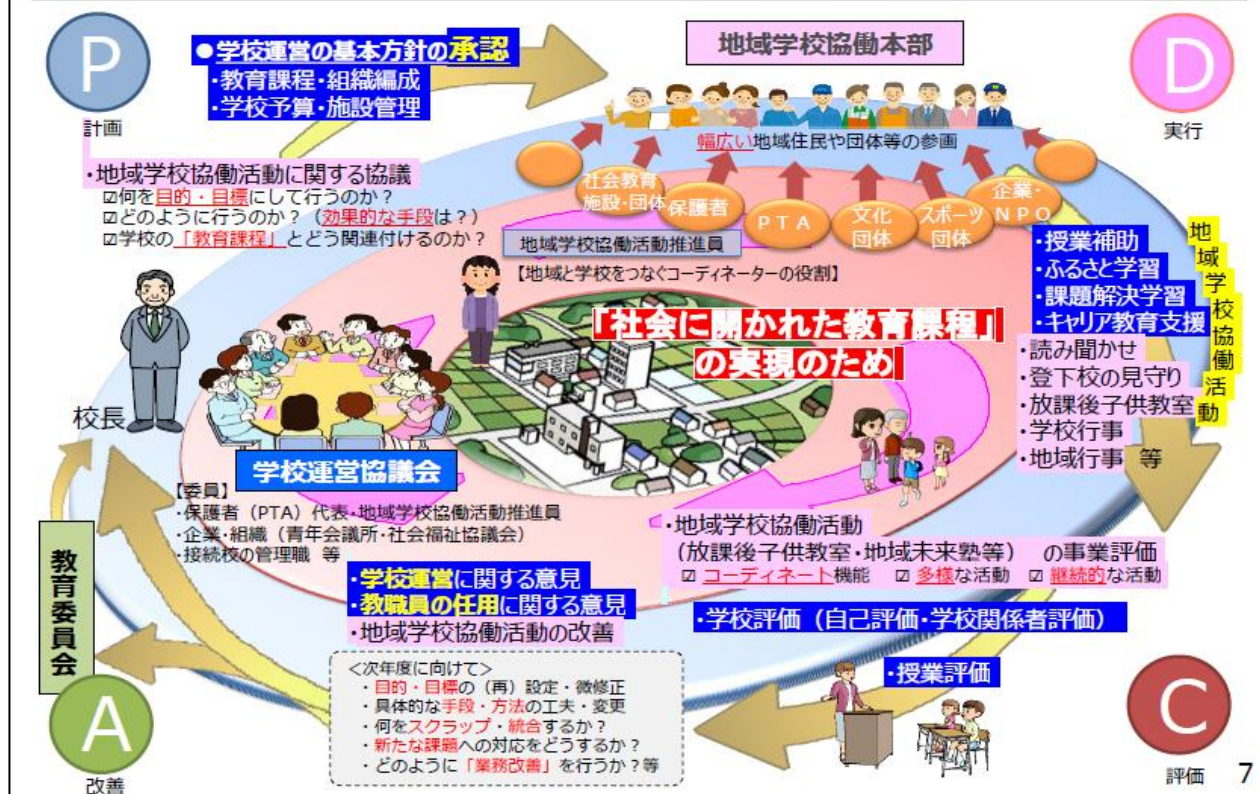
地域にとっていいこと

- ①地域住民等の生き甲斐や自己実現の機会がつけられます。
- ②地域づくりの担い手が育成されるとともに、地域の教育力が向上します。
- ③地域コミュニティ再生につながります。

「平成27年度地域学校協働活動に関するアンケート調査」＜文部科学省・国立教育政策研究所＞

参加していただいた関係者の皆様、大変お世話になりました。

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



さらに研修を深めて
いきます！！

今後の予定

第2回「地域と学校の連携・協働」関係者等研修

令和元年11月1日（金） 県庁

「地域学校協働活動とCSとの
一体的推進について」さらに深
く！！ 講師招聘も

各地域の実践を交流します

「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会

令和元年11月～令和2年2月 各教育事務所ごと